



南部町立南部中学校 学校だより 第9号

# 千一ム南部中

令和2年 8月24日 (月)  
校長 望月 和彦

## 短い夏休みを終え、2学期のスタート



8月1日から23日間の短い夏休みを終え、本日24日から2学期が始まりました。8月に入ると大変暑い日が続きましたが、大きなけがや病気、事故などの報告がなかったことが何よりです。始業式では、各学年と生徒会代表の依田大輝さん、一瀬友希さん、望月芹菜さん、稲葉朝哉さんがこれまでの反省と2学期に向けての抱負を発表しました。4人とも原稿を読むのではなく、自分自身の言葉で、2学期への決意を立派に述べていました。私も式の中で、次のような話をさせていただきました。

(前略) …7月25日から8月10日かけては、コロナ対策を講じる中で県総体が行われました。3年生にとっては部活動の集大成となる大会ができたことは本当に良かったです。そのなかでも、男子バレー部は2・3年生ばかりでなく、1年生も選手として出場して県3位になったことは見事でした。また、県総体陸上では、他校の選手の多くが陸上部員である状況下、短期間の練習で木内美吹さん、草場孜温さん、五十嵐智春さんが入賞し、水泳でも小池咲来さんが100m自由形で第3位になったことは嬉しいニュースでした。県総体を終え、すべての運動部が2年生・1年生の新チームとなりました。先輩たちが残してくれたものを心に刻み、新たな目標を持って「部活動に頑張る南中生」の伝統を引き継ぎ、さらに発展させていってほしいと思います。…(中略) …



さて、今日から2学期です。2学期は1年間の中で最も長い学期である上に、たくさんの行事があります。夏休みからすでに取り組みを始めて

いる生徒会最大行事の輝城祭、11月にはクラスや学年の団結力を示す音楽発表会、運動部の新人戦や生徒会役員選挙などの行事もあれば、1学期から延期になっている3年生の修学旅行や2年生の宿泊学習も10月に予定されています。新型コロナウイルス感染症は、1学期よりも状況が良くなっているとは決していえません。健康や安全に関わることなので、直前まで変更や中止の可能性も頭に入れておいてほしいと思います。学校としては可能な限りの感染症対策をとりながら、現時点では実施する方向で準備をしています。生徒の皆さんも、自分にできる感染症対策、みんなでできる感染症対策を、それぞれ考えて可能なことを実践しながら、準備や取り組みを進めていってほしいです。

そして、3年生にとっては教育課程到達度確認検査など重要なテストがあり、自分自身の進路を選択するための大切な学期でもあります。自分自身にもっともふさわしい進路先はどこなのかをじっくり考え、受験勉強にも力を入れていってほしいです。

さまざまな制限や困難な状況はありますが、輝城祭のテーマ「だからこそ」の言葉通り、この状況下だからこそ、学べること、成長できることがあるはずです。155人の一人ひとりの生徒がそれぞれの力や良さを思う存分発揮し、益々成長できる2学期になることを期待しています。

## 「親子奉仕作業」

8月22日(土)PTA環境整備部主催の「親子奉仕作業」が行われました。1年生とその保護者の皆さん、環境整備部と本部役員の皆さん、そして教職員で、校庭や敷地周辺の除草作業、体育館の窓磨き、インターロッキングや渡り廊下の美化作業に取り組みました。朝7時半に集合してもらい、熱中症の危険から作業時間を1時間に短縮しての作業でしたが、生徒たちも、お父さん

も、お母さんも汗を流しながら一生懸命作業をしてくださいました。2学期を迎えるために、気持ちの良い学校環境が整いました。ありがとうございました。



## 身延高校陸上部の指導を受けました

県総体の陸上競技の部に出場する3年生の選手たちは、8月3日と4日の午後、スクールバスで身延高校に出かけ、陸上部の高校生に指導していただく機会を得ました。身延高校陸上部は県下の高校の中でも、たくさんの優秀な選手を輩出している部であり、本校の多くの卒業生も陸上部で活躍しています。午後の2時間ほどでしたが、短距離、長距離、ハードル、投擲、高跳び、幅跳びなど、種目ごとに高校生から様々な技術を教えていただきました。陸上競技に部活動として毎日取り組んでいる高校生から、専門的な技術を教えていただいたり、アドバイスをもらえたことはとても貴重な経験になったようです。南部中には陸上部はありませんが、参加した生徒の中には「高校生になったら



陸上部に入るつもりです。」と話していた生徒もいました。高校生の中には、昨年度の茨城国体で高校1年で優勝した小森直史さんもいて、中学生を褒めながら丁寧に指導してくれていたのが印象的でした。連携型中高一貫校としての効果的な連携になりました。身延高校陸上部の小林浩昭先生、部員の皆さんありがとうございました。



## 第10回輝城祭への参観者の制限について

第10回輝城祭は9月12日(土)に開催する予定です。新型コロナウイルス感染症への対策として、「当日は1日のみ」「取り組み時間を、3分の2に減らす」「全校合唱は行わない」「体育の部で縦割り競技は行わない」「縦割りの部門をなくし、文化部門と体育部門は3年生が担当する」「体育館での発表は窓やドアを開けた状態で行う」「来賓の人数を極力減らし、参観者の人数も制限する」などの対策を考えてきました。参観者の人数制限について、現段階では次のようにさせていただきます。生徒や保護者、来場者の健康と安全を守るためです。何卒ご理解をお願いいたします。

- ▶ 参観者は保護者のみで、各家庭1名のみ。地域の方々や卒業生など一般の参観者はなし。
- ▶ 1年生の保護者の参観は、体育館での「1年生の発表の時間」と展示見学のみ。
- ▶ 2年生の保護者の参観は、体育館での「2年生の発表の時間」の展示見学のみ。
- ▶ 吹奏楽部と美術文芸部の1・2年生の保護者は、それぞれの部の発表の参観も可。
- ▶ 3年生の保護者の参観は、体育館での「開祭式」「3年生の発表の時間」「吹奏楽・美術文芸部の発表の時間」と展示見学、校庭での「体育の部」。
- ▶ 体育館の参観、校舎内の展示見学の移動は一方通行をお願いする。

※詳細については、後日配布します保護者の皆様への案内文でご確認ください。